

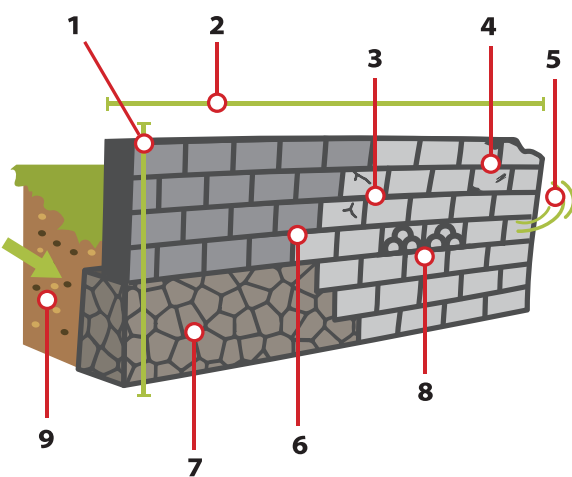
自治会や防災会等の団体が地域の安全を確保するための手引き

自治会や防災会等の団体が中心となって、個人が所有するブロック塀等の撤去を促進するためには、まずは、自治会や防災会が、自分の地域にあるブロック塀等の危険箇所を把握し、地域として活動を行うことが大切です。また、ブロック塀等の撤去は、地域の一員である個人の所有物であり、撤去できない問題や課題があることを理解することが大切です。ここでは、自治会や防災会等の団体がブロック塀等を撤去するために必要な取組を紹介します。なお、取組において、わからないことや困ったことがあれば、高槻市もサポートします。

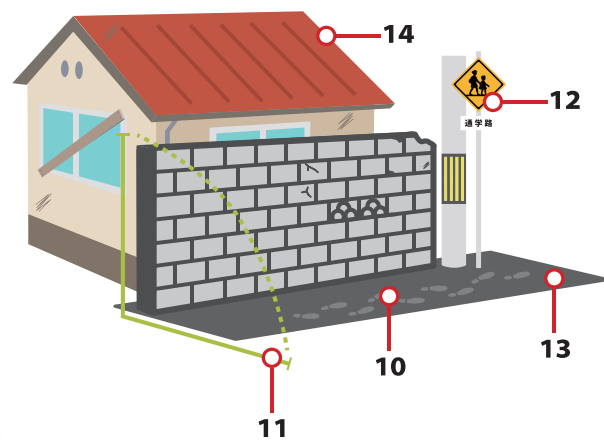
地域の安全点検をして、ブロック塀等の危険箇所を把握しよう！

ブロック塀等の評価

数値・目視基準



周辺環境・地域基準



チェック✓

- 1. ブロック塀の高さが 1.2m 超 (7 段以上) である
- 2. ブロック塀の幅が 3.4m 以上 (横に 9 個以上) である
- 3. ひび割れがある
- 4. 風化・劣化している
- 5. 傾いている
- 6. ブロック塀が途中から継ぎ足されている・途中から異なるブロック塀が設置されている
- 7. 石垣の上にブロック塀が設置されている
- 8. 透かしブロック塀が、縦・横・斜めのいずれかの方向に、2 個以上連続して使用されている
- 9. ブロック塀の後ろから荷重がかかっている
- 10. 前面道路は、歩行者の通行が多い
- 11. 前面道路の幅よりも、ブロック塀の方が高い
- 12. 前面道路が通学路になっている
- 13. 前面道路の道が細い
- 14. 人が住んでいない古い家のブロック塀である

自治会や防災会の状況から、撤去に向けた取り組み内容を確認しよう！

Step1 地域の安全点検

参考資料 各地区の地図

地域にある危険なブロック塀等を把握しよう

自分のまちを歩いて回り、自分が危険だと思う箇所やブロック塀等を見つけたら、記録し、地図にプロットしましょう。危険かどうかの判断は、左ページのブロック塀等の評価を参考に、それぞれ該当する項目を把握しましょう。



Step2 情報の共有

参考資料 各地区の地図

各自が地域の安全点検で把握した情報を共有しよう

各自が把握したブロック塀等の写真や地図、該当する基準を持ち寄って、自治会や防災会で情報を共有しましょう。共有により、ブロック塀等の把握漏れをなくすとともに、危険の基準を自治会や防災会で統一しましょう。

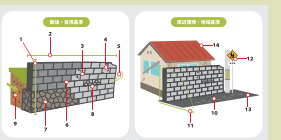


Step2 危険なブロック塀等の評価

参考資料 ブロック塀等の評価 (左ページ)

共有したブロック塀等を評価しよう

把握しているブロック塀等について、左ページの基準を基に、全員で評価しましょう。自治会や防災会で、それぞれのブロック塀等で危険な理由を意識統一することで、地域としての撤去の必要性を把握することができます。



Step3 地域の防災力の強化

参考資料 地域防災力の強化に向けた取組

地域で防災に関する知識や取組を学ぼう

地域が実施する防災活動を学ぶことで、地域の防災力が強化するだけでなく、地域から個人に防災意識が波及し、ブロック塀等の所有者への意識啓発にもつながります。地域として防災に関する取組や地域防災の必要性について学びましょう。



Step4 所有者へのチラシのポスティング

参考資料 普及啓発のチラシ

ブロック塀等の所有者に、撤去を促進する普及啓発チラシを渡そう

ブロック塀等の所有者に対して、撤去を促すため、普及啓発のチラシを渡しましょう。ただし、地域の住民との関係性を壊さないように十分に注意が必要のため、まずはポスティングなどを行い、ブロック塀等の所有者に危険性を知ってもらいましょう。



Step4 ブロック塀等撤去の補助制度の紹介

参考資料 高槻市ブロック塀等の撤去に関する補助制度のチラシ

ブロック塀等の所有者に対して、補助制度を知ってもらおう

補助制度を活用することで、負担を減らして撤去することができるので、ブロック塀等の所有者の方にお知らせしましょう。

